社会科学習指導案

実　施　日　平成２３年８月３１日
実施クラス　１年１組(３校時)
授　業　者　　川　合　風

1　指導単元

(2)古代までの日本　　古代国家の成立　東アジアの交流

2　授業改善のポイント（言語活動の充実の観点から）

・生徒が自分の言葉でまとめ、発言できる時間を設定する。
・発言を促す働きかけを、根気よく授業の中で行う。

3　本時の授業

（１）本時のねらい　・日本や朝鮮が隋や唐に使いを送った理由について考察する。
（２）本時の展開

	学　習　内　容	教師の働きかけ	予想される生徒の反応	指導上の留意点（評価）
導入	・新聞記事を紹介する。 ・大陸の動きを復習する。	・黒板にキーワードを書く。 ・前時までのノートを確認させる。	・ニュースについて知っていることを発言する。	
展開	<隋・唐> ・中央集権化を図るための制度を理解する。 ・遣唐使や遣隋使などを派遣した理由を考察する。 <新羅> ・朝鮮半島を支配した新羅と日本の関係を知る。	・どのような役人の試験だったか想像させる。 ・考える時間を与え、ノートにまとめてから発表させる。 ・朝鮮半島でも日本と同様に唐の制度を導入したことに気付かせる。	・国をまとめるための方法について発表する。 ・ノートに書かずに発表する生徒がいる。 ・新羅が高句麗に滅ぼされたことを知る。	・隋や唐に使いを送った理由について考察している。 （思考・判断）
まとめ	・中国は、世界の中心として東西のつながりをもっていたことに気付く。	・地図を見ながらまとめをノートに書かせる。	・朝鮮も日本も唐の影響を受けていることに気付いている。	・授業を振り返りながら唐がどんな国だったかをまとめる。